

# 法蔵

寺報法蔵  
令和元年お盆号  
発行 長田善生  
日光市大桑町270  
TEL(21)8220  
浄土宗 法蔵寺  
開創 631年

## 仏に願ひ、いのる

### 〜仏さまから頂くもの

今年もお盆の時期がやってきました。ご先祖様を自宅にお迎えし、ねんごろに供養する貴重な機会です。生命をいただいたご恩に感謝し、ぜひ家族で手を合わせましょう。

\*\*\* \*\*

さて先日、いつも熱心に仏さまに手を合わせていた篤信のお檀家さんがお亡くなりになりました。まだまだこれからというお歳でのご往生でした。そんなとき、ある方がこんなことを言っていました。「△△さんは、いつも仏さまに拜んでいたのに早く亡くなって残念ね・・・」

この言葉を聞いて、仏様から頂く「ご利益」について、改めて考えてみたいと思いました。

\*\*\* \*\*

私たちは、神仏を拜んで得られる「ご利益」というと、目に見える「お金」や「長寿」、「出世」や「結婚」などを考えます。でも、仏さまの「ご利益」では、ほかに大切なものがあります。

仏さまを拜むことで、常に護られる「安らぎ」を得ます。不安を払い、勇気をもたらえます。いつも頑張っている努力を、成功に向かって後押ししてくれます。これを仏教で『大

法話・これからの行事予定 一面  
法蔵寺住職交代について 二面  
お盆・お施餓鬼のご案内 三面  
お坊さんになるには・お知らせ 四面

安心(だいあんじん)』とい

ます。目に見えない大きな「ご利益」です。また、私たちはどんなに祈っても、年はとるし、病気にもなります。亡くならない人もいません。そんな人生の中で、本来受けるはずだった重い病や不幸な出来事を軽くしてもらおう。これは「転重軽受(てんじゅうきようじゆ)」という教えです。これも、仏さまから頂ける「ご利益」です。

\*\*\* \*\*

先のお檀家さんは、多くの親しい方に囲まれて、優しい言葉をかけられ、微笑むような優しいお顔で送られました。その様子からは、きっと幸せ多い人生だった



たのかなと思いました。

拜んだのに思うようにならなかった!というのは、結果から考えたことで、本当の「ご利益」ではありません。

お盆には、ぜひ身近な仏さまであるご先祖様をお参りし、日々の報告をし、見守ってくれるようにお願いしてはいかがでしょうか? 合掌

### 施餓鬼(せがき)法要

八月十六日(金) 午後二時  
年に一度の先祖供養です。  
ぜひ菩提寺にお参り下さい。  
詳細は三面

### 秋彼岸法要

九月十五日(日) 午前十一時  
※初盆、初彼岸をお迎えの方にはハガキにてご案内します。

### 令和二年五月

#### 住職交代します。

二十八世瑞譽善生退任  
二十九世量譽真宏就任  
関連記事二面